

長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について

委員会の目的

「長崎大学の高度安全実験施設（BSL4施設）整備に係る国の関与について」（平成28年11月17日関係閣僚会議決定）に基づき、長崎大学における高度安全実験施設（BSL4施設）の整備にあたり、大学が実施する安全性の確保と住民の理解などに向けた取組を第三者の立場からチェックすることを目的に設置。

監理委員会（第1期）

第1期として計10回（2017～2022年）開催し、以下の論点を中心に専門的な見地から必要な助言等を実施。

【議論してきた主な論点】

- 施設の設計、建設段階における理念、基本的考え方、作業方針の記載含まれる基本構想
- 上記を踏まえた建設工事の状況を含む安全確保方策
- 地域における理解促進の取組状況 等

監理委員会（第2期）

第1期における議論の進展とともに、BSL4施設の関連施設が2022年3月までに竣工※。現在は本格稼働に向けた準備段階にあることから、第2期では以下の論点を中心に、長崎大学の取組状況を踏まえつつ、年に1～2回の頻度で開催予定。

【今後の主な論点】

- **大学の施設運用、研究の計画・実施に関する自己点検状況等を踏まえた安全確保方策**
- **地域における理解促進の取組状況 等**

※実験棟2021年7月、本館（研究棟）2022年3月竣工

監理委員会（第2期）構成員

◎ 主査

岡村 匡史 国立国際医療研究センター研究所動物実験施設 室長
河本 志朗 日本大学危機管理学部 非常勤講師
神田 玲子 量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門放射線医学研究所 副所長

西條 政幸 札幌市保健福祉局医務・健康衛生担当 局長
◎ 笹川 千尋 千葉大学真菌医学研究センター センター長
野口 和彦 横浜国立大学IASリスク共生社会創造センター 客員教授
平尾 寛 西村あさひ法律事務所 弁護士

長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について

○第1 1回監理委員会(令和5年3月13日)

■議題

- 1.長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について
- 2.安全確保の方策等に関する検討状況について
- 3.地域における理解促進に向けた取組について
- 4.その他

■委員の主な御意見

- 先端科学技術システムについて住民の理解を得るだけでなく、長崎大学が地域の方々の発言を理解することも大変重要。引き続き地域の方、関係者とのコミュニケーションを丁寧に継続していただきたい。
- 若い世代の理解を深めていく活動も非常に重要。中学生や高校生を対象とした出前授業など、若い世代に理解を促す取組を長く継続していただきたい。

※これまでの監理委員会における配布資料及び議事録は文部科学省HPにて公開しております。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/046/index.htm

<これまでの開催実績>

- | | |
|--------|--|
| 第1回 | 長崎大学高度安全実験施設（BSL4施設）に係るこれまでの経緯、長崎大学における検討状況（2017年3月27日） |
| 第2～3回 | 長崎大学の感染症研究拠点の中核となる高度安全実験施設（BSL4施設）の基本構想について（同年5月26日、7月27日） |
| 第4回 | 長崎大学高度安全実験施設（BSL4施設）の施設性能、地域における理解促進に向けた取組について（同年12月5日） |
| 第5回 | BSL4施設の建設までの主な工程、安全確保方策等、地域における理解促進に向けた取組について（2018年5月15日） |
| 第6回 | 今後の主なスケジュール、地域における理解促進に向けた取組、バイオセーフティ監理監について（同年12月5日） |
| 第7～10回 | 感染症共同研究拠点実験棟(BSL4 施設)建設工事の状況、安全確保の方策等、地域における理解促進に向けた取組について
(2019年8月2日～2022年3月11日) |